

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|-----------------------------|---|--|------|--------|---|------|------|----------------|---|-----|----|-------------|---|-----|-----|---------------------|---|-----|-----|------------|---|
| 香蘭ファッションデザイン専門学校 | 昭和51年9月1日 | 深田勝久 | 〒810-0074 福岡市中央区大手門二丁目10番5号 (電話) 092-751-1331 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校法人山内学園 | 昭和33年1月10日 | 坂根康秀 | 〒811-1311 福岡市南区横手一丁目2番1号 (電話) 092-581-1538 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 服飾・家政 | 服飾専門課程 | ファッションビジネス科ファッションコーディネートコース | 平成7年1月23日文科省 告示第7号 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学科の目的 | ファッションアドバイザーとして必要な資質である、時代のニーズに沿った幅広いコーディネート提案が出来る人材を、企業と連携し実店舗経験を通し育成する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定年月日 | 平成 26 年 3 月 31 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2,230時間 | 770時間 | 355時間 | 976時間 | 0時間 | 0時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年 | 昼間 | 単位時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 留学生数(生徒実員の内) | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 80人 | 84人 | 0人 | 3人 | 18人 | 21人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学期制度 | ■1学期:4月6日～7月19日 ■2学期:8月22日～12月16日 ■3学期:1月10日～3月17日 | | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前後期試験、提出物理解度、授業意欲態度、プレゼンテーションなど | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期休み | ■学年始:4月1日～4月5日 ■夏季:7月20日～8月21日 ■冬季:12月17日～1月9日 ■学年末:3月18日～3月31日 | | 卒業・進級条件 | 次の事項に該当する者は、原則として進級・卒業資格を認めない。①未納者 ②規定課題未提出 ③教科ごとに1/3以上の欠席回数がある場合。(補講で補充は可とする) ④定期試験已受験者、もしくは不可をとったもの。(追再試で合格すれば可) ⑤判定会議にて進級・卒業に値しないと判断さ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学修支援等 | ■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 各教科の学習指導、補助や長期休暇前の個別面談、生活指導を各担任が行い、また場合によって学科主任まで面談を行う。 | | 課外活動 | ■課外活動の種類 学生自治組織への参加、学園祭の実行委員、外部イベント(ファッションショー)などに対しての参加 ■サークル活動: 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就職等の状況※2 | ■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 福岡本社の地元アパレル、全国展開のアパレル小売りの販売職が中心。一部スタリスト。 | | 主な学修成果(資格・検定等)※3 | ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ■就職指導内容 学校主催による企業説明会を始め、定期的なキャリアカウンセリングを開催。個別に履歴書添削・ハタチンキ指導・スタイル指導・面談指導・授業でのビジネスマナー指導実施。また若者仕事サポートセンター主催で企業訪問を実施。外部への就職セミナーへの参加など、1年時より定期的に指導。 | | | <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファッション販売能力検定2級</td> <td>②</td> <td>14人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>スタイリングマップ検定</td> <td>②</td> <td>14人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>リテールマーケティング検定級(販売士)</td> <td>②</td> <td>40人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラー検定</td> <td>②</td> <td>14人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> | | 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | ファッション販売能力検定2級 | ② | 14人 | 7人 | スタイリングマップ検定 | ② | 14人 | 13人 | リテールマーケティング検定級(販売士) | ② | 40人 | 29人 | パーソナルカラー検定 | ② |
| 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ファッション販売能力検定2級 | ② | 14人 | 7人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スタイリングマップ検定 | ② | 14人 | 13人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リテールマーケティング検定級(販売士) | ② | 40人 | 29人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| パーソナルカラー検定 | ② | 14人 | 10人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中途退学の現状 | ■中途退学者 5名 平成28年4月1日時点において、在学者84名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者79名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学校生活への不適応、進路変更、病気療養 | | ■中退率 5.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済的支援制度 | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 香蘭ファッションデザイン専門学校高校生奨学生試験(返還不要)、授業料減免制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第三者による学校評価 | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当該学科のURL | http://www.koran.jp/course/fashiondesign1/ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文科省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 ① 常に社会のニーズに応えうる教育内容を何よりも大切に考え、職業教育機関として、企業で即戦力となる 人材を育成せねばならない。
 ② 目的に応じた分野における実務上の知識・技術及び技能を教授し、職業に必要な、実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 教育課程編成委員会での助言・示唆を参考にさせて頂くことで、教育課程の見直しを実施し、より現場に則した教育カリキュラムの実施運営を行っている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年11月1日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|----------------------------------|--------------------------|----|
| 石井 幸子 | 社団法人 日本洋装協会 理事 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | ① |
| 八頭司 正典 | 協同組合 福岡卸センター 理事長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | ① |
| 津田 鶴太郎 | 一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会 福岡支部支部長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | ① |
| 小竹 敦之 | 小竹正株式会社 取締役社長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | ③ |
| 秋田 泰史 | アドベンチャー株式会社 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | ③ |
| 長 憲一郎 | フカヤ株式会社 取締役 人財部長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | ③ |
| 天本 誠司 | 「All My Loving」デザイナー | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | ③ |
| 山田 隆 | 学校法人山内学園 法人本部長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | ③ |

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回開催

(開催日時)

第1回 平成30年11月7日 16:00～18:00

第2回 平成31年2月22日 17:00～19:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 福岡の地場企業であり、本校の取り組みに対して理解がある。また学習の場として十分な設備、施設等を提供していただき、学習成果の評価を行うなどの体制がとる事が可能な企業・業界団体を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
 企業に対して学生からVMD、商品企画、販売促進イベントなどの提案、プレゼンテーション及び企画の実施や企業からの接客指導によるロールプレイング大会など。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|--------------|---|--------------|
| 販売実習 | 選ばれたファッション販売員(FA)の職能に必要な「プロ意識」「ホスピタリティ」「接客力」を身につけ、接客業を追求出来る人材の育成を目指す。前期は知識とロールプレイングでお客様に喜ばれる接客応対力を習得。後期はP(プラン)D(ドク)S(スタディ)A(アクト)に沿って、文化祭限定の仮想ショップや実際の店舗研修で、現場で起きた問題や店舗からの評価を受け、改善点をレポートし、PBL(プロジェクトベースドラーニング)を実行する。 | 各学生就職内定先企業 |
| 販売実習 | 選ばれたファッション販売員(FA)の職能に必要な「プロ意識」「ホスピタリティ」接客力」を身につけ、接客業を追求出来る人材の育成を目指す。前期は知識とロールプレイングでお客様に喜ばれる接客応対力を習得。後期はP(プラン)D(ドク)S(スタディ)A(アクト)に沿って、文化祭限定の仮想ショップや実際の店舗研修で、現場で起きた問題や店舗からの評価を受け、改善点をレポートし、PBL(プロジェクトベースドラーニング)を実行する。 | フカヤ株式会社 |
| 販売実習 | 販売員に必要なヒューマンスキル(コミュニケーション能力、成長意欲など)の土台作り。実際の店舗の状況、具体的な業務内容を知る事で大きなギャップを埋め次年度の就職活動に臨めるような準備を行う。ファッションを趣味レベルから仕事レベルへ引き上げロールプレイングを通して、職業としての意識を高める。 | 株式会社東京スタイル |
| プロデュースⅢ/ショー | ファッションショーを通じ、企画の流れを学ぶ。テーマとコンセプトを明確にし、ショーの目的や内容を伝え、メッセージ性が加味されているかを考えることが目的。現在の流行、社会性、文化、風俗に対して、企画したキャッチフレーズやカラー、テキスタイル企画が合致しているかを考慮し、企画する。 | イオンモール株式会社 |
| プロデュースⅠ/ブランド | アパレル業界に必要な専門用語を学び、同時にマップ作成作業を通して感性を伸ばし、企画に必要な基礎能力を身につける。そしてファッションビジネスの構造を学んだ上で、更にトレンドを調査、分析することにより、時代に即したブランド、商品のプロデュース方法を学ぶ。 | 株式会社ヒデトレディング |

| | | | |
|---|--|--------------------------|-------|
| 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係 | | | |
| (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ファッションビジネスにおける各分野(販売、営業、MDなど)の業務内容を体験することで職種理解を深めるとともに、企業の求める人材、現場に必要な力を肌で感ずることで、学生への教育指導、就職マッチングに反映させる。また現場でのリアルタイムのビジネスの流れを具体的に把握することでカリキュラム内容に反映させ、授業内容の充実を図る。 | | | |
| (2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等 福岡の地元企業である株式会社M2カンパニーの協力のもと、営業職の職務内容や商品の流れなどの実務について教員の理解を深めることを目的として営業職研修を実施。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 福岡県私立専修学校・各種学校「人権・同和教育研修」 | | | |
| (3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等 ファッションビジネスの現場におけるVMDやMD等を実際の店舗において店長様の指導、アドバイスを受けつつ職員が実践。 ② 指導力の修得・向上のための研修等 | | | |
| 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係 | | | |
| (1) 学校関係者評価の基本方針 本校の自己点検を8項目において評価し、その報告と改善に向けての助言を頂いた上で、昨年以上の効果を上げることを目標とする。 | | | |
| (2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 | | | |
| ガイドラインの評価項目 | | 学校が設定する評価項目 | |
| (1) 教育理念・目標 | 学校目標、教育理念 | | |
| (2) 学校運営 | 学校運営 | | |
| (3) 教育活動 | 各科の基本方針と目標、教育課程編成委員会、連携事業、教育内容、設備、就職、検定、成績評価 | | |
| (4) 学修成果 | 学修成果、卒業生社会評価 | | |
| (5) 学生支援 | 教員の質保証、就職支援、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者連 | | |
| (6) 教育環境 | 教育環境、内部質保証、リスクマネジメント | | |
| (7) 学生の受入れ募集 | (2)の中での学生募集 | | |
| (8) 財務 | (2)の中での財務情報 | | |
| (9) 法令等の遵守 | 法令などの遵守 | | |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | | | |
| (11) 国際交流 | | | |
| ※(10)及び(11)については任意記載。 | | | |
| (3) 学校関係者評価結果の活用状況 年に一度の会議後に各委員様より評価票を頂き、その結果に基づいて改善策を図っている。 | | | |
| (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿 | | | |
| 平成28年11月1日現在 | | | |
| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
| 石井 幸子 | 社団法人 日本洋装協会 理事 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 八頭司 正典 | 協同組合 福岡卸センター 理事長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 津田 鶴太郎 | 一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会 福岡支部支部長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 小竹 敦之 | 小竹正株式会社 取締役社長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 秋田 泰史 | アドベンチャー株式会社 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 長 憲一郎 | フカヤ株式会社 取締役 人財部長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 天本 誠司 | 「All My Loving」デザイナー | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 檜崎美紀子 | 福岡県立香椎高等学校 教務課長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 高校教員 |
| 牛島茂美 | 香蘭ファッションデザイン専門学校同窓会五月会 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 卒業生代表 |
| 久保幸子 | ファッションデザイン専攻科3年 保護者 | 平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年) | 保護者代表 |
| 山田 隆 | 学校法人山内学園 法人本部長 | 平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年) | 学園代表 |
| ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等 | | | |

| | |
|--|----------------------------|
| (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 (○ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) URL: http://www.koran.jp/about/information/ | |
| 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係 | |
| (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針 各企業に対しては、校長を始めとした教職員が常日頃コミュニケーションを図り、最新の情報を入手できるよう配慮している。 | |
| (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応 | |
| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
| (1)学校の概要、目標及び計画 | シラバス、事業計画、パンフレット、HP |
| (2)各学科等の教育 | シラバス、事業計画、パンフレット、HP |
| (3)教職員 | シラバス、事業計画 |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育 | 各学科による職業実践専門課程によるカリキュラム、HP |
| (5)様々な教育活動・教育環境 | パンフレット、HP |
| (6)学生の生活支援 | 事業計画、パンフレット |
| (7)学生納付金・修学支援 | パンフレット、HP |
| (8)学校の財務 | HP,財務情報 |
| (9)学校評価 | HP. |
| (10)国際連携の状況 | |
| (11)その他 | |
| ※(10)及び(11)については任意記載。 | |
| (3)情報提供方法 URL: http://www.koran.jp/about/information/ | |